

平成28年2月1日

日本将棋連盟山形県支部連合会

支部長 各位

事務局 各位

日本将棋連盟山形県支部連合会

事務局長 石井知征

山形県支部連合会新年会 会議録

1. 日時 平成28年1月30日(土) 15時より

2. 場所 天童市天童温泉 滝の湯ホテル

3. 会議 (司会 石井事務局長)

- | | | |
|-------|-----------------------|----------|
| ・開 会 | 日本将棋連盟山形県支部連合会副会長兼幹事長 | 花輪 正明 |
| ・挨拶 | 日本将棋連盟山形県支部連合会会長 | 大泉 義美 |
| ・来賓挨拶 | 日本将棋連盟常務理事 | 中川 大輔 八段 |
| | 天童市副市長 | 新関 茂 氏 |
| | 山形新聞社編集局次長兼報道部長 | 佐藤 秀之 氏 |

4. 自己紹介

5. 会議(座長 大泉県連会長)

①県連総会懸案事項について(石井事務局長説明)

別添(案)の表彰取扱い要綱(案)及び慶弔取扱い要綱(案)を読み上げ説明

(座長)

- ・ご意見を伺いたい。

(山口村山支部幹事長)

- ・支部への貢献はあるが県連への貢献などが無い場合、あるいは、支部の役員でなくとも良いのか。

(石井事務局長)

- ・支部の役員であって欲しい。

(佐々木酒田荘内支部長)

- ・弔意を捧げることに異論はないが、全てをこの対象とした場合、支部の現職の役員はかなり多くなるので疑問に思う。県連の役員であれば良いと思う。

(高橋新庄副支部長)

- ・同意見です。あまり支部に重点をおいてしまうと、予算的にも大変になると思う。

(大泉座長)

- ・いつまで決めれば良いのか。

(石井事務局長)

- ・総会の付託事案でもあり、今回決めていただくのが良いと思います。

(大泉座長)

- ・皆さんからご意見をいただいて、次期総会にかけることもあるのではないかと。

(佐々木酒田荘内支部長)

- ・もし、次期総会までの間にこのような事案が発生した場合はどうするのか。

(石井事務局長)

- ・次期総会までの間にこのような事案が発生した場合は、この(案)を参考に適用したいと思いません。

(大泉座長)

- ・この件について、各支部から意見を求めた。

(荒木上山支部長)

- ・支部長からの申請で、支部における貢献者にもお願いしたい。

(山口村山支部幹事長)

- ・支部への貢献については基準もあいまいで、また、支部への貢献には分からない部分もあるので、適用範囲は県連の役員として、限定した方が分かりやすいと思う。

(寺沢山形副支部長)

- ・山口さんの意見に賛成です。

(矢作河北支部事務局長)

- ・村山支部と同意見です。慶弔取扱い要綱(案)の3の①と②の修正で良いと思う。

(村岡天童支部長)

- ・これまで話された通りで良いと思います。

(阿部寒河江支部長)

- ・同意見です。

(大宮山形花笠支部長)

- ・同じ考えです。

(秋葉東根支部長)

- ・村山支部と同じです。

(大泉座長)

- ・それでは、対象範囲を県連の役員に修正して、次期総会に提案としてよろしいか。

(全員)

- ・異議なし

②県連事業計画について(花輪幹事長説明)

主なもの

- ・4月23日(土)に、第74期名人戦大盤解説会が天童将棋交流室にて開催
- ・5月1日(日)に、第2回チェリーパークホテルさくらんぼ杯を開催
- ・日にちは未定も、6月(6/4-5 予定)にサッカーと将棋のコラボのイベントを開催予定
- ・7月2日(土)~3日(日)に第60回を迎える東北六県将棋大会については、小中学生1名を加えた5人制などの案もでていますが、決まっていない。(河北新報参加も)
- ・9月28日(水)に、山田久美女流三段を講師に山新レディースセミナーが開催
- ・10月29日(土)に、第40回を迎える県連総会を村山支部の主管で開催

(大泉座長)

- ・事務局から説明がありました。拍手を持って承認したい。

③山形新聞社主催の各種大会について(山形新聞社将棋担当の鹿野さんより説明)

別添資料により説明

(大泉座長)

- ・ご意見を伺いたい。

(山口村山支部幹事長)

- ・50回の記念大会時は、予選をなくしてトーナメントの一発勝負でやったように記憶しているが、今回はどのように考えておられるのか。

(山新鹿野さん)

- ・現時点では、従来通りに2日制でやる予定です。
この際、講演なども計画しておりますので、大会は山形メディアタワー、講演会は山形グランドホテルにての開催となります。夜遅くまでなる可能性もありますので、講演などをやる場合には考えなければならないと思います。このような場合、県連事務局からアドバイスをいただきたい。

(大泉座長)

- ・よろしいでしょうか。

④その他

(大泉座長)

- ・何かありますか。

(花輪幹事長)

- ・文部科学大臣杯の日程が、運動会等の事業とぶつかる場合もありますので、調整させていただく。

(阿部寒河江支部長)

- ・確認ですが、サッカーと将棋のコラボの日程について。

(天童市商工観光課松田さん)

- ・日程については希望日を言ってありますが、今、調整中です。

(阿部寒河江支部長)

- ・昨年の5月に十字屋での大会があったと思いますが、今年はいかがですか。

(大泉座長)

- ・外島県連会計、山形支部の役員としていかがですか。

(外島山形支部副幹事長)

- ・今年は流動的と伺っております。

(阿部寒河江支部長)

- ・もしある場合は、寒河江での大会とダブらないようにして欲しい。

(外島山形支部副幹事長)

- ・十字屋の方にそのような話をしたい。

(大泉座長)

- ・そのような方向で調整をお願いします。皆様からの意見がなければこれにて議事を終了します。

5. 講演

1) 「連盟の事業方針について」

日本将棋連盟 中川 大輔 常務理事

【要旨】

- ・御礼ー昨年8月の天童開催自治体将棋サミット。15自治体参加。大変有意義であった。
翌日の中学選抜開会式で各自治体の方々は感激のようであった。プラスバンドで選手紹介、

妃殿下臨席の厳肅な開会式。なかなか出来ないこと。(各自治体感想)

- ・普及方針—こどもへの普及、これを一番の目標として活動する。
- ・保護者お母さん方の感想—将棋を指すようになって集中力が上がった。これが勉強にもつながり成績が上がった。
- ・将棋の武器—面白さ・礼儀作法・負けた後の大切さ、これらを伝えたい。
- ・JTテーブルマーク子供大会、全国11カ所で開催。昨年始めて1万人参加を超えた。これからも増を目指す。
- ・学校教育課、学校の課外活動で棋士を派遣している。(東京中心)連盟でも1000万の予算を建てている。
- ・普及サミットの継続、今年は8月東京開催を予定。
- ・九州研修会の設立、これで全国で4カ所になった。地元協賛企業の協力が大きい。
- ・次は北海道研修会か。
- ・連盟会館耐震工事、3月より第2期を行う。
- ・2020年オリンピック、文化プログラムに将棋を入れるように活動中。
- ・3月のライオン・聖の青春、映画化が予定されている。将棋普及にプラス。
- ・将棋が認知されていることが感じられる。追い風が吹いている。
- ・県連各支部に普及活動のご協力をお願いしたい。

2)「こどもと女性の指導方法について」

日本将棋連盟 所司 和晴 七段

【要旨】

- ・自分の将棋を振り返って
現在千葉県支部連合会顧問
小学1-2年の時に将棋を覚える。百科事典で覚えた。
中学2年までクラスで指していた。
3年の時に、始めて将棋道場に行った。席主が師匠。
平野先生に入門、しかし1局も指してもらえなかった。
奨励会初段まで、棋士と指したことがない。その後川口先生・島先生の研究会に入った。
現在弟子が6名(渡辺竜王・松尾・宮田・・・)
- ・石井四段は、幼稚園年長より指導(振り返って指導方法を伝えたい)
6-8枚落ちで始めた。
最初は、他の教室大人に何回も負ける。その都度泣いていた。
そこで、カルチャー教室の方に行かせる。同じ位の相手がいる。
指導は、最初は平手。その内、駒落ち。
定跡通り指せば負ける。ちょっと変化すれば厳しく指す。この繰り返し。
小3で三段、小4で奨励会入会
その後は、研究会等で厳しく指導した。
- ・現在津田沼将棋道場で指導
クラス分けでリーグ戦等を行っている。
相手を見て、ゆるめるか、厳しく指すか判断する。
- ・上海将棋事情、学校で将棋を教えている。将棋が指せる人は100万人を超えた。

・今度、将棋普及のために会社を設立した。

将棋普及に努めたい。

質問

花輪幹事長—東北にも研修会設立をお願いしたい。理事会で案は出ていないのか？

中川常務—理事会ではまだ話になっていない。多くの方々の要望があれば検討したい。

そして、九州のように協賛企業がいるかどうか、協力するプロ棋士がいるかどうか、問題になると思う。

花輪幹事長—東北は、各県連合会がまとまった東北6県連合会がある。(全国で唯一)

6県連合会会長会議で提案して、連盟をお願いしたいと思う。

質問

石井事務局長—所司先生のお弟子さんで渡辺竜王がいます。竜王のことなどをお話下さい。

所司先生—小学名人戦で優勝してから弟子になった。小4で五段の実力だった。将棋はけれんみ、たっぷりの将棋、とても小学生とは思えなかった。活発でよく話す小学生だった。棋譜ならべを一生懸命していた。要領が良く、中原先生・谷川先生の棋譜をじっくりと良く並べていた。ただ、対局者を見て、見ただけで並べないこともあった。

6. 懇親会・2次会で中川常務との話(花輪・石井)

①オリンピック後、新国立競技場でイベントをしたい。

観客10万で人間将棋開催はどうだろうか。(お～、大賛成)

天童人間将棋対姫路人間将棋の対決はどうだろうか。(話が盛り上がった)

②将棋ファン現在1000万弱を3000万にしなければならない。

経済効果も3倍になる。棋士の待遇も向上する。その具体策は・・・

③連盟でもっと普及活動の新しい案を考えるべきでは？

棋士・職員の方々は、目の前の対局・仕事に追われすぎ。

棋士・職員の方々も、将来の構想を考えるべきではないだろうか。

(理事だけにまかせてはいけない)

④学生普及免状をより多く出して欲しい。免状をもらうことによって、やる気のある子が増えれば、将来、二段・三段と、より高段の免状を取得する者が増える。

今は、中学に進んで他のクラブに入り、将棋から離れる子が多いが、例え離れたとしても、免状を持っていれば、近い将来、大人になって将棋に戻ってくることは大いに考えられる。

(貴重な意見を伺った。参考にさせていただきたい)

⑤所司先生と

オリンピックの時に、マインドスポーツゲーム(頭脳スポーツのこと)世界大会が同時開催された。北京のときは、囲碁・チェス・中国将棋・他(日本の将棋はなし、所司先生は中国将棋に参加した)。日本開催の時に将棋も入れた大会は開催できないだろうか。(ぜひ開催をお願いします)

いろいろな意見交換は、将棋界活性化に大変有意義であった。

(以上)